

調査結果の概要

1 アンケートのテーマ

スギ花粉症対策

2 アンケートの目的

東京都のスギ花粉症対策の参考とするとともに、八都県市共同で行うスギ花粉症対策の参考とする

3 アンケートの期間

平成 18 年 1 月 27 日(金)12 時から平成 17 年 2 月 2 日(木)12 時まで

4 アンケートの方法

モニターがインターネットを利用して、アンケート専用ホームページから回答を入力

5 インターネット都政モニター

500 人

(インターネット都政モニターは、満 20 歳以上の都民を対象に年度ごとに公募)

6 回答者数

488 人

7 回答率

97.6%

スギ花粉症対策

1 調査項目

- Q 1 スギ花粉症への関心
- Q 2 スギ花粉症に関心がある理由
- ★Q 3 スギ花粉症の有無
- Q 4 スギ花粉症の症状の平成 16 年と平成 17 年の比較
- ★Q 5 スギ花粉症治療のために実行していること
- ★Q 6 スギ花粉症予防のために実行していること
- ★Q 7 行政に望むスギ花粉症対策
- Q 8 花粉情報の提供について
- Q 9 花粉情報の充実について
- Q 10 スギ花粉症発症予防策の必要性
- Q 11 東京産スギ材活用の意向
- Q 12 東京産スギ材活用の方策
- Q 13 スギ花粉症対策の基金創設への協力の意向
- Q 14 スギ花粉症対策への意見・要望(自由意見)

★は八都県市共通調査項目

2 アンケート回答者属性

	カテゴリー名	n	%
全 体		488	100.0
性 別	男 性	247	50.6
	女 性	241	49.4
年 代	20 代	93	19.1
	30 代	116	23.8
	40 代	85	17.4
	50 代	91	18.6
	60歳以上	103	21.1
職 業	自営業	48	9.8
	常 勤	177	36.3
	パート・アルバイト	40	8.2
	主 婦	119	24.4
	学 生	42	8.6
	無 職	62	12.7
居住地域別	区部	328	67.2
	市町村部	160	32.8

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある

※ n (number of cases) は、比例算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

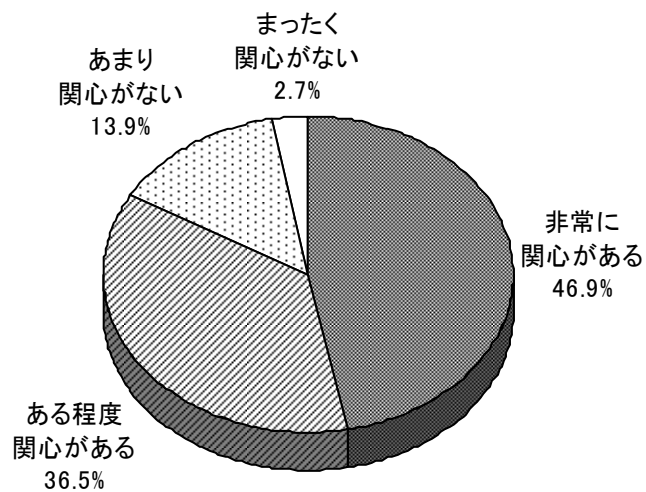
※ 回答方法・・・(2MA=2つまで選択、3MA=3つまで選択、MA=いくつでも選択)

調査結果

スギ花粉症への関心

Q 1 あなたはスギ花粉症に関心がありますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

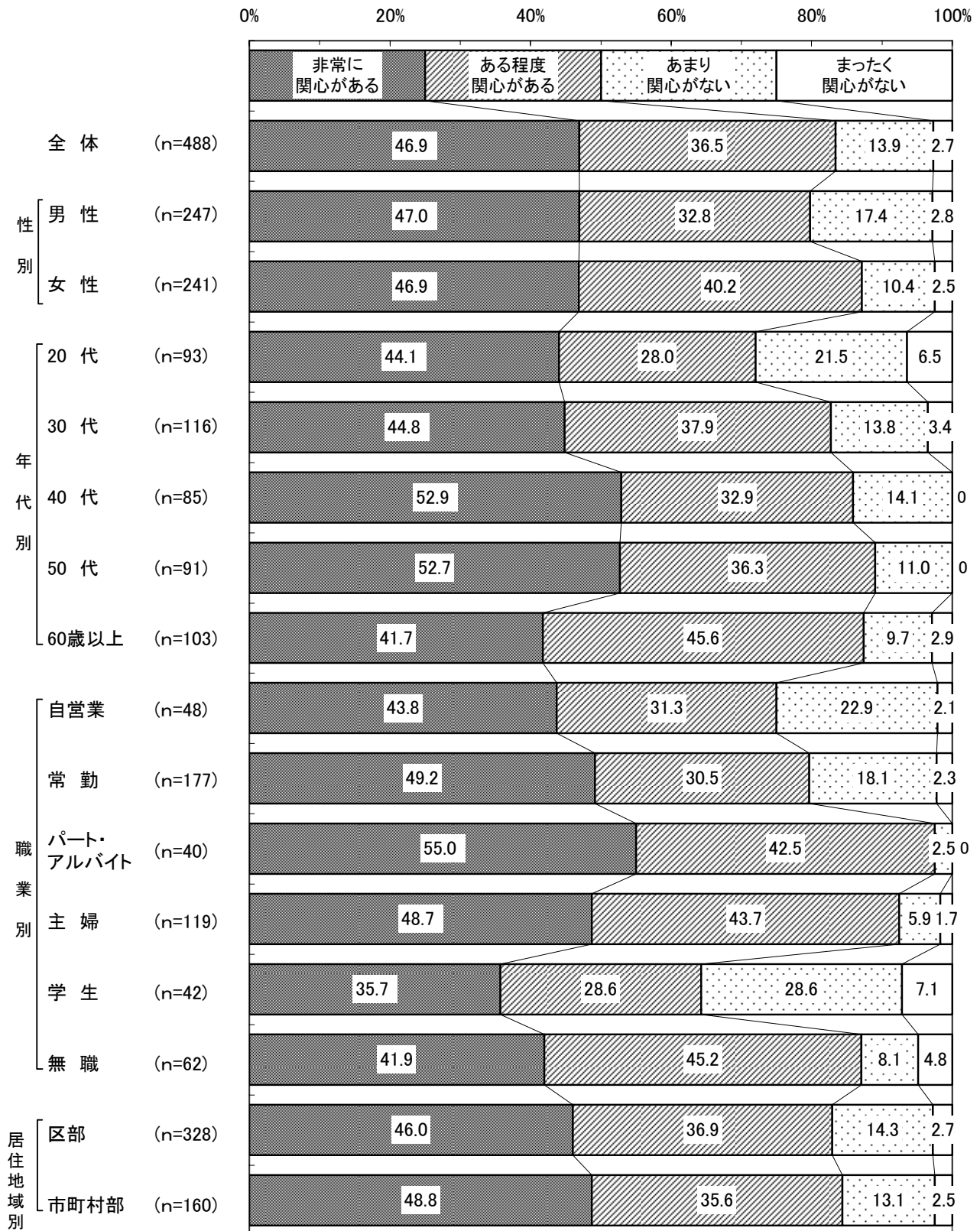
(n = 488)



『関心がある』83.4% = 「非常に関心がある」 + 「ある程度関心がある」

『関心がない』16.6% = 「まったく関心がない」 + 「あまり関心がない」

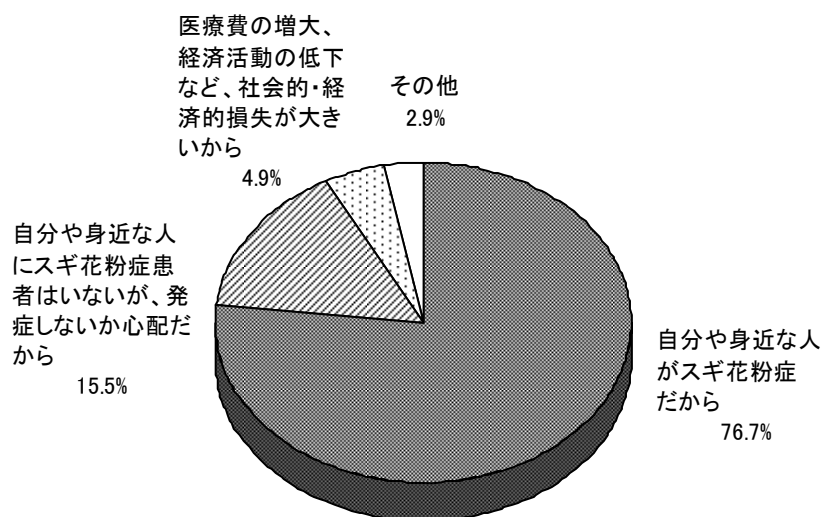
<スギ花粉症への関心・・・属性別>



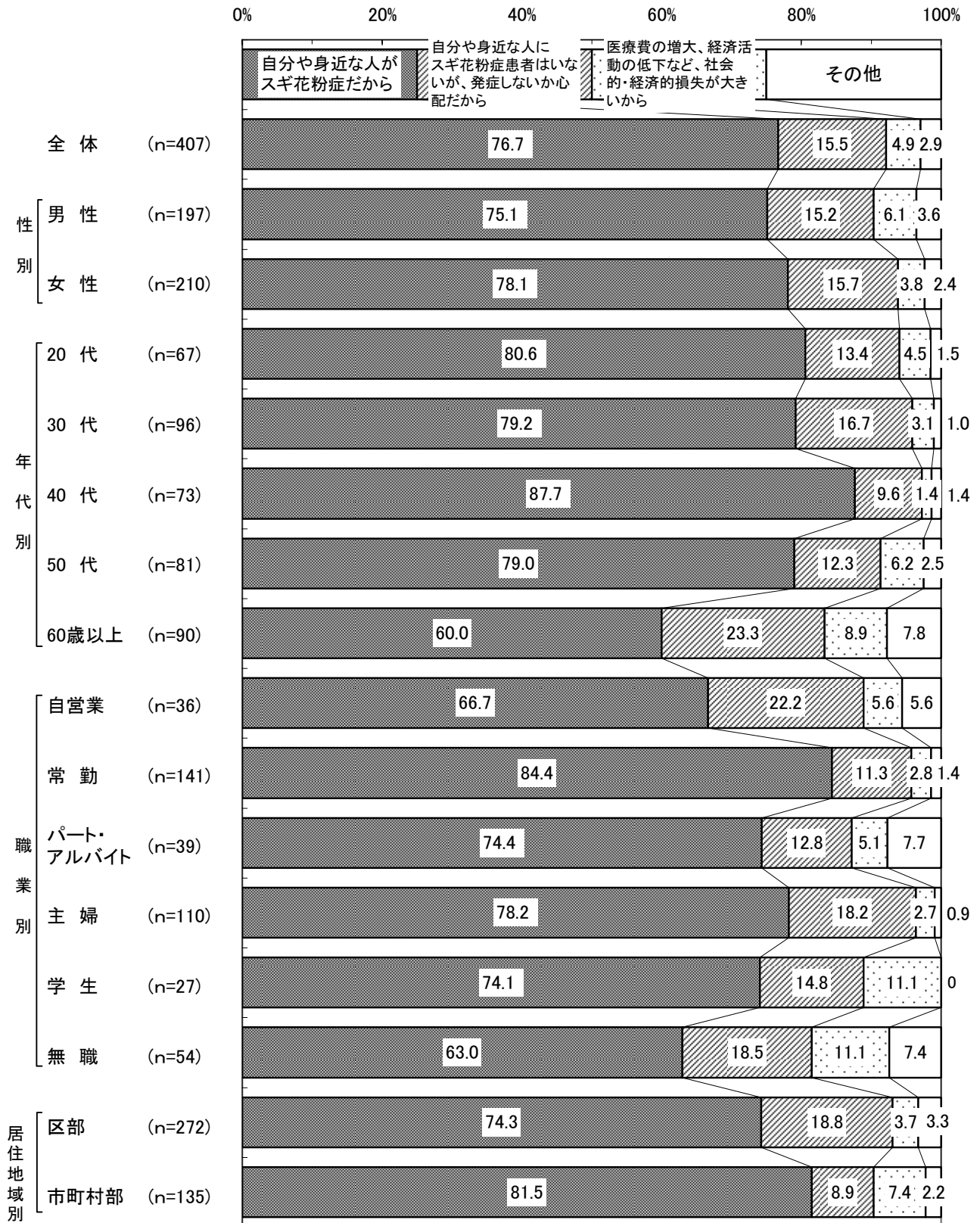
スギ花粉症に関心がある理由

Q 2 Q 1で「非常に関心がある」または「ある程度関心がある」とお答えの方にお聞きします。スギ花粉症に関心がある理由を次の中から1つ選んでください。

(n = 407)



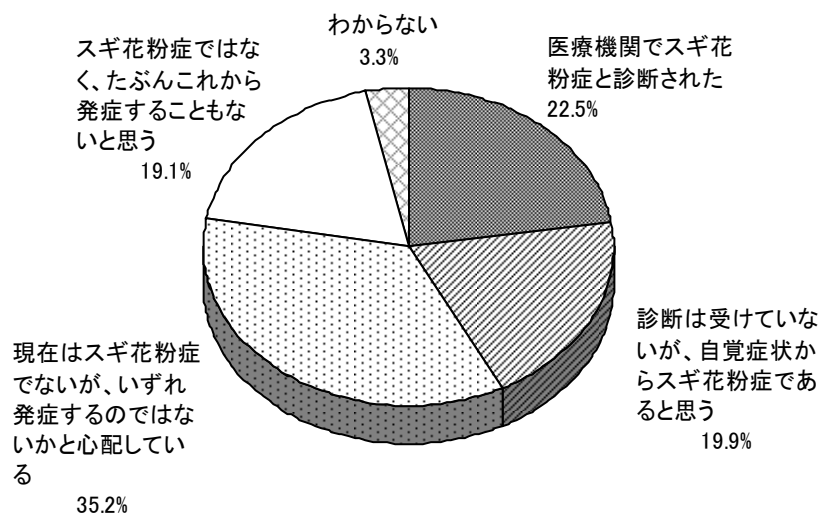
<スギ花粉症に関心がある理由・・・属性別>



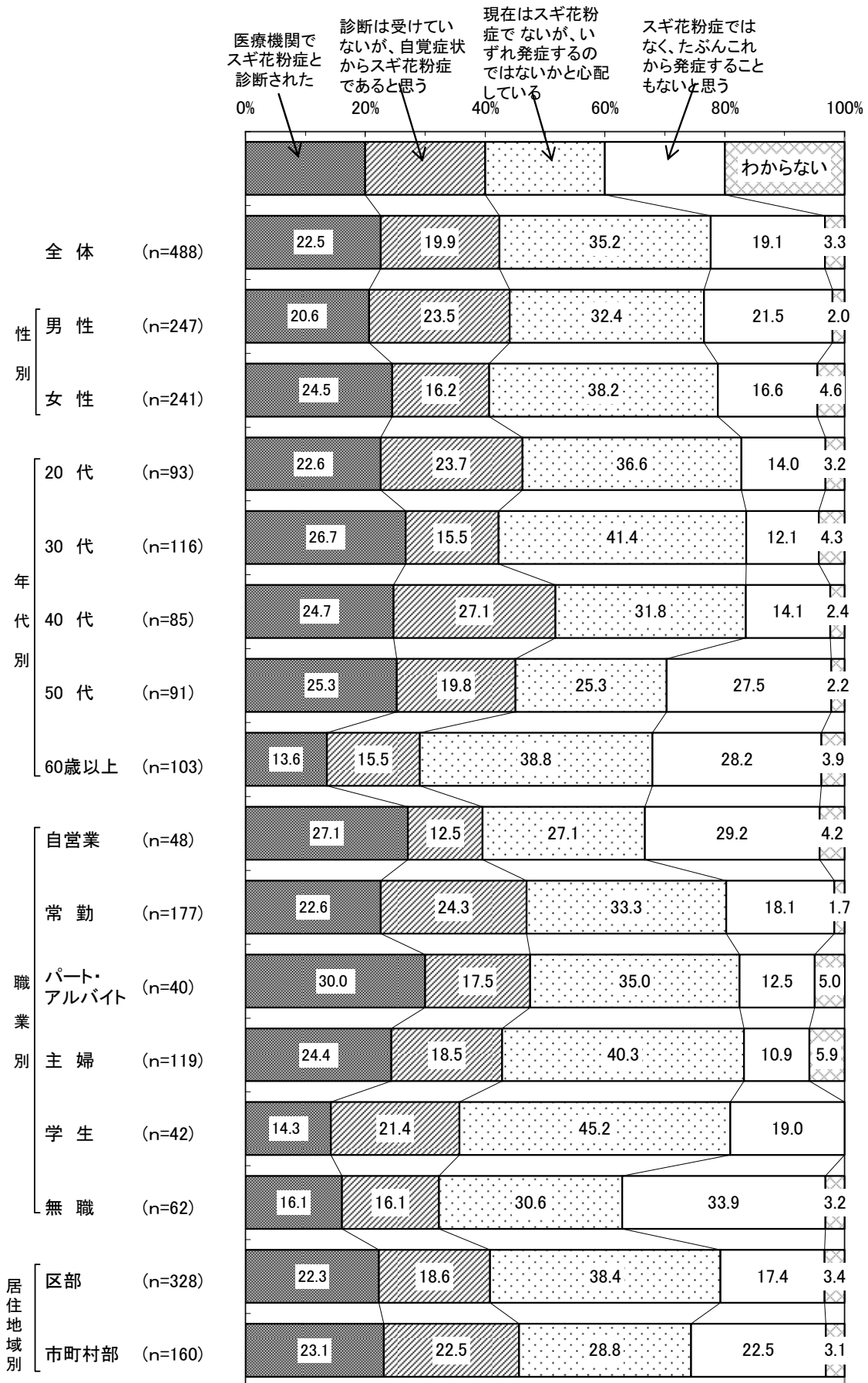
スギ花粉症の有無

★Q3 あなたはスギ花粉症ですか。次の中から1つ選んでください。

(n = 488)



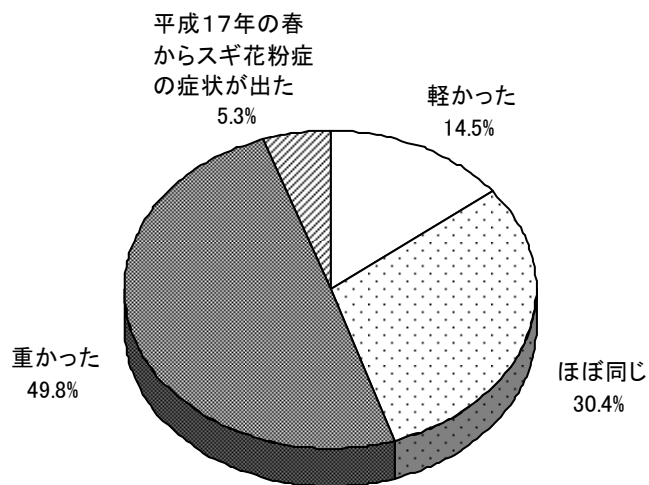
<スギ花粉症の有無・・・属性別>



スギ花粉症の症状の平成16年と平成17年の比較

Q4 Q3で「医療機関でスギ花粉症と診断された」または「診断は受けていないが、自覚症状からスギ花粉症であると思う」とお答えの方にお聞きします。平成17年の春のスギ花粉症症状は、平成16年の春と比べてどうでしたか。次の中から1つ選んでください。

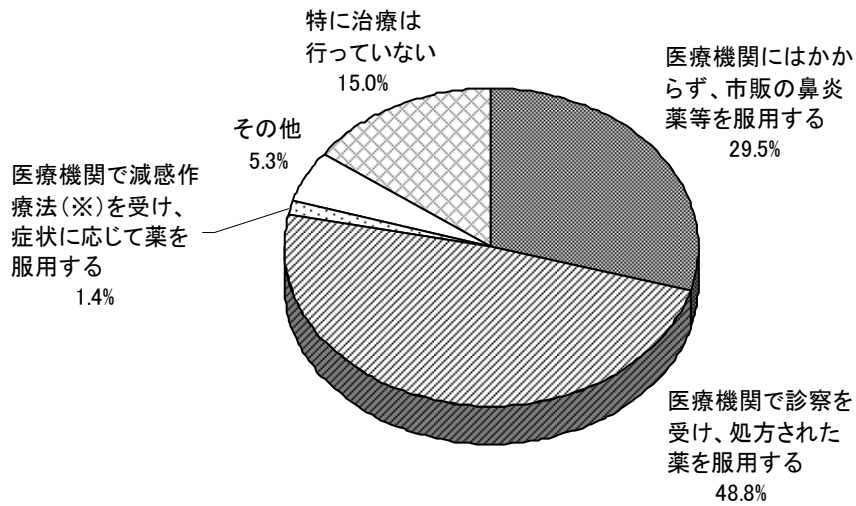
(n = 207)



スギ花粉症治療のために実行していること

★Q5 Q3で「医療機関でスギ花粉症と診断された」または「診断は受けていないが、自覚症状からスギ花粉症であると思う」とお答えの方にお聞きします。あなたがスギ花粉症治療のために実行していることは何ですか。次の中から1つ選んでください。

(n = 207)



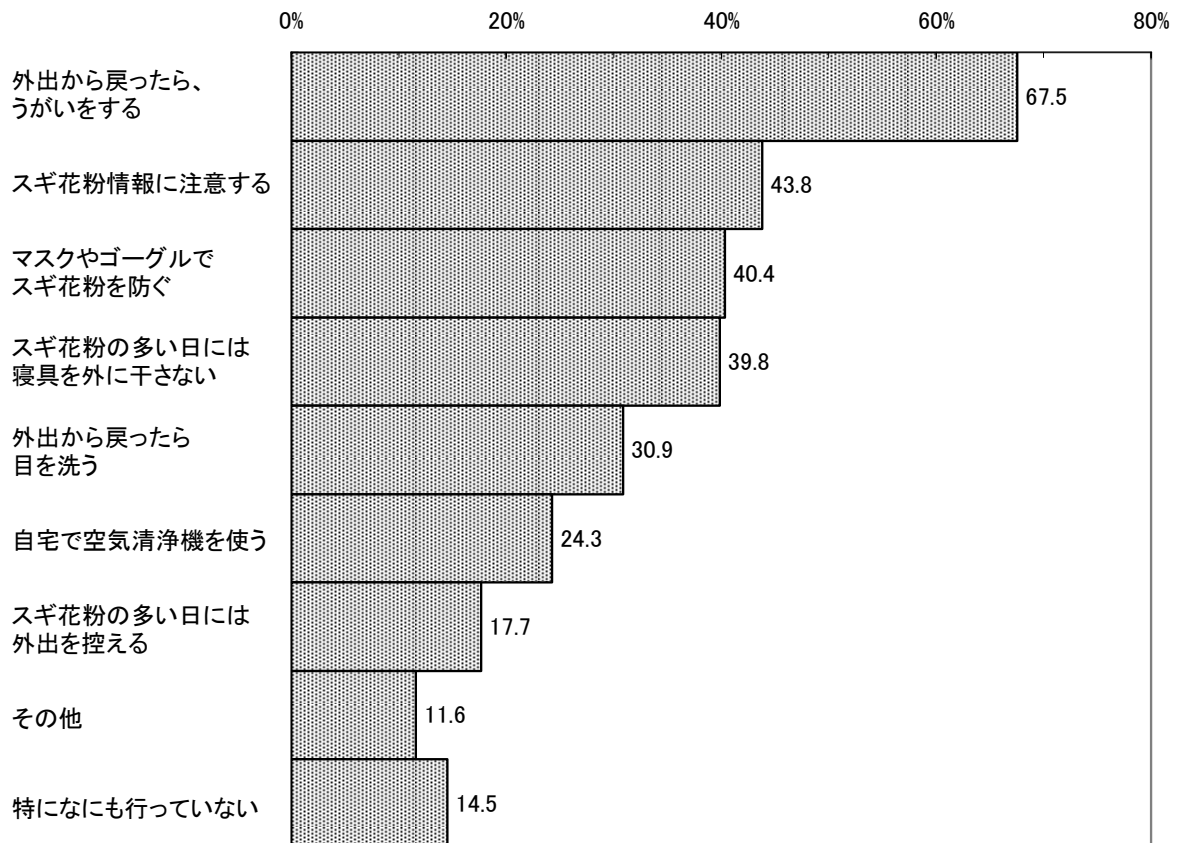
※減感作療法(げんかんさりょうほう)

皮下注射等で花粉エキスを体内に入れて、徐々に身体を慣らし、アレルギー反応を起こしにくい体質に改善する花粉症の根本的治療法。体の免疫状態に変化が起こるため、「免疫療法」とも言う。

スギ花粉症予防のために実行していること

★Q6 Q3で「医療機関でスギ花粉症と診断された」、「診断は受けていないが、自覚症状からスギ花粉症であると思う」または「現在はスギ花粉症ではないが、いずれ発症するのではないかと心配している」とお答えの方にお聞きします。あなたがスギ花粉症予防のために個人的に実行していることは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

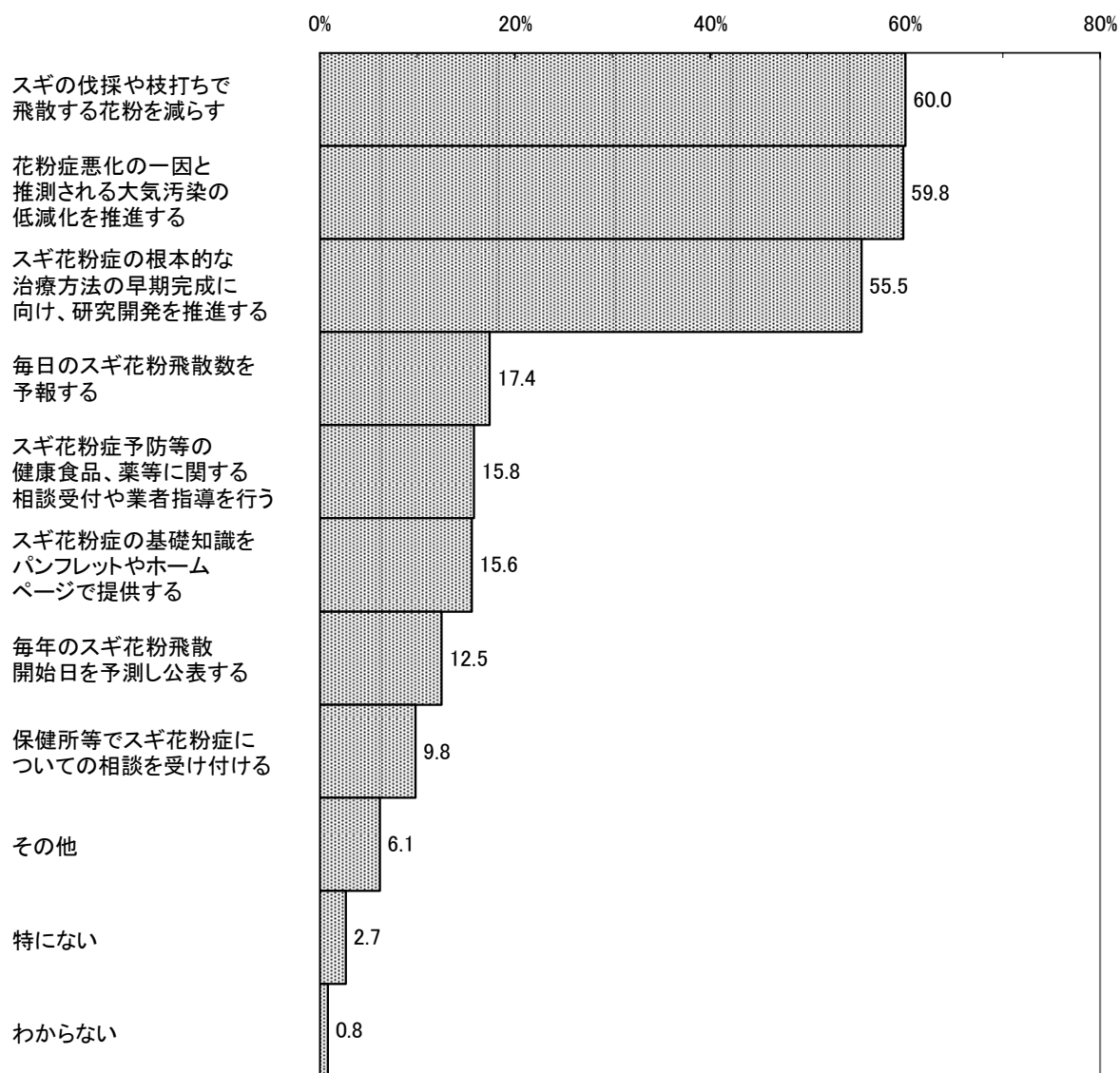
(MA) (n = 379)



行政に望むスギ花粉症対策

★Q7 あなたが行政にスギ花粉症対策として特に実施してほしいと思う対策は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

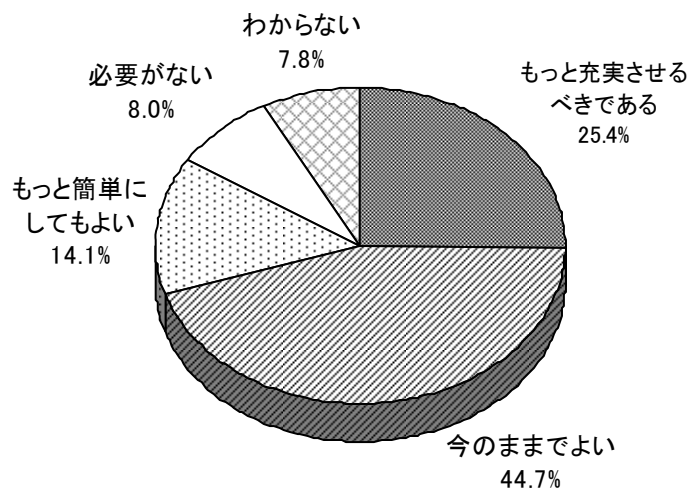
(3MA) (n = 488)



花粉情報の提供について

Q 8 東京都では、スギ花粉シーズン中は毎日、花粉の飛散状況や予報をテレホンサービス、インターネット、携帯電話のサイトでお知らせしています。このような花粉情報の提供について、あなたはどのように思われますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

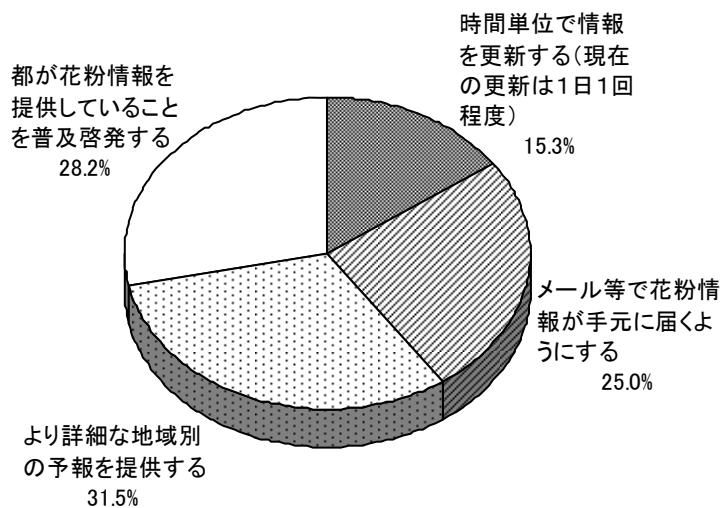
(n = 488)



花粉情報の充実について

Q9 Q8で「もっと充実させるべきである」とお答えの方にお聞きします。東京都は花粉情報を充実させるため、次に掲げるような内容について実施を検討しています。この中から、あなたが特に必要だと思うものを1つ選んでください。

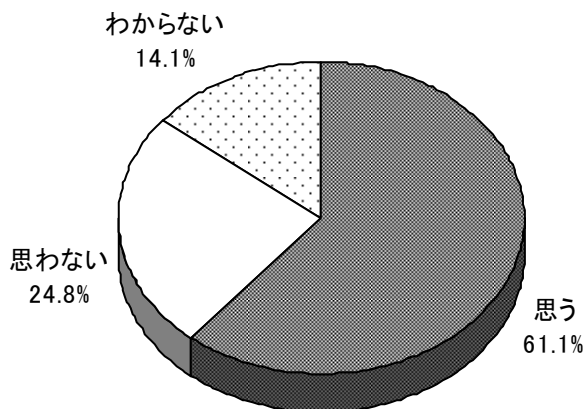
(n = 124)



スギ花粉症発症予防策の必要性

Q10 スギ花粉症患者をこれ以上増やさないように、新たな発症を防ぐ対策も重要です。スギ花粉飛散の特に多い日には、屋外での活動を控えることや、患者以外の人にもマスクの着用を勧めるなど、東京都がスギ花粉症の予防に役立つ対策を行うべきだと思いますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から1つ選んでください。

(n = 488)

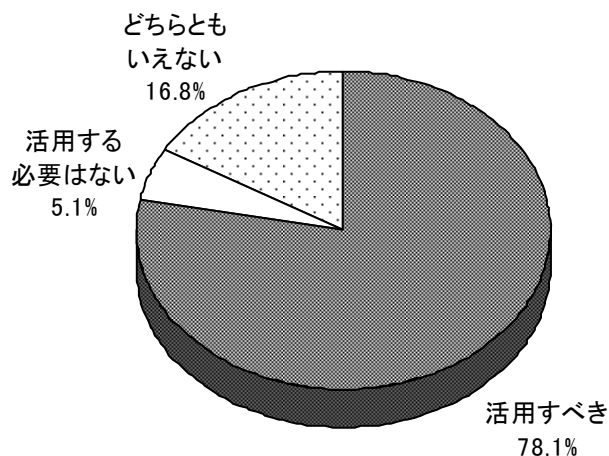


東京産スギ材活用の意向

Q 1 1 東京都は「総合的花粉症対策」を平成18年度重点事業として位置づけ、長期的な花粉発生源対策として、多摩地域から発生するスギ花粉の量を10年間で2割削減することとしています。そのため、スギ林等の伐採、花粉の少ないスギや広葉樹に植え替える事業等を平成18年度から開始します。これらの事業を推進していくためには、伐採したスギ木材の利用拡大が不可欠です。しかし、東京の山は林道や作業道の整備が遅れ、木材の搬出に多くの費用がかかるため、東京産スギ材は他の国産材や外国産材より2～3割、割高になっています。

仮に東京産スギ材が多少割高だとしても、スギ花粉を減らしていくため、東京産スギ材を活用すべきという考え方があります。あなたはこのことについてどのようにお考えですか。次の中から1つ選んでください。

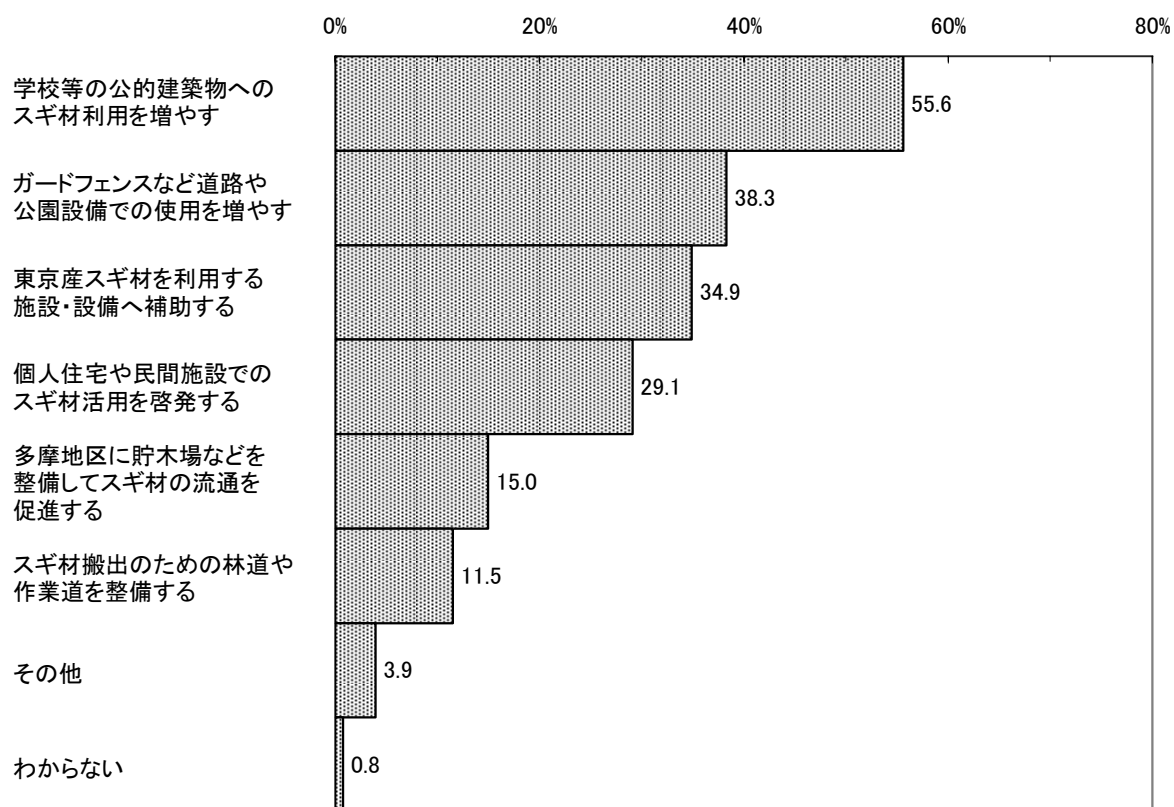
(n = 488)



東京産スギ材活用の方策

Q 1 2 Q 1 1で「活用すべき」と回答した方にお聞きします。東京産スギ材を活用する方策として、特に大切だと考えるものを2つまで選んでください。

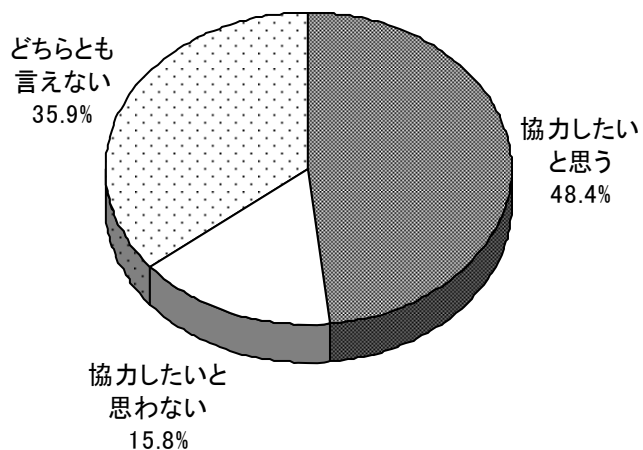
(2MA) (n = 381)



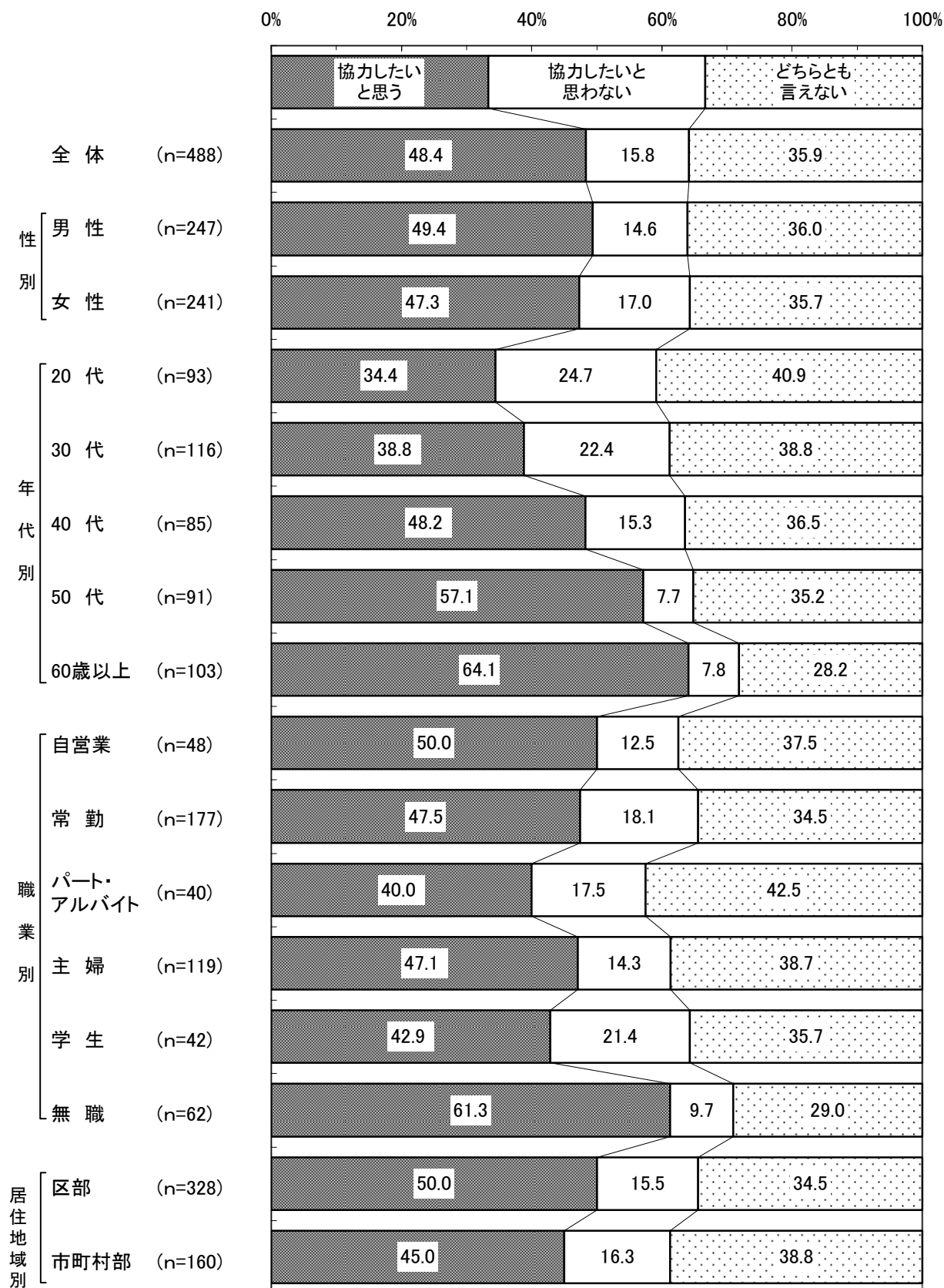
スギ花粉症対策の基金創設への協力の意向

Q 1 3 東京都は、花粉発生源対策を進めるため、スギの伐採や植林のための基金を創設して、広く都民の皆さんに基金への参加を求めていくことを検討しています。あなたは、このような基金が創設されたら、募金をしようと思いますか。次の中から1つ選んでください。

(n = 488)



<スギ花粉症対策の基金創設への協力の意向・・・属性別>



スギ花粉症対策への意見・要望（自由意見）

Q 1 4 スギ花粉症へのご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

(n = 3 2 0)

3 2 0 人のモニターから、3 2 3 件の意見が寄せられました。

1 発生源対策に関する意見・要望	9 0 件
2 花粉症の予防・治療対策に関する意見・要望	8 3 件
3 大気汚染対策の推進に関する意見・要望	5 1 件
4 花粉症対策に関するその他の意見・要望	7 6 件
その他	2 3 件

1 発生源対策に関する意見・要望（9 0 件）

- ・花粉症対策のため、スギの伐採や植林のための基金を創設するという考え方に、疑問を感じた。税金を払い治療費を払い続けている私達が何故さらなる負担をしなければならないのか。（女性, 20 代, 中央区）
- ・スギ花粉症対策としてスギ材で造られた小学校をTVで見て、とても気持ちよさそうでうらやましく思った。花粉症歴 10 年にもなるので、早く改善されることを期待する。（女性, 20 代, 町田市）
- ・花粉症の増加は国の林業政策失敗の「人災」だと思う。山が荒廃した結果、水につながる田畑や海も荒れ果てた。是非、東京から国を変えてほしい。基金が創設されたら、必ず協力する。（男性, 30 代, 中央区）
- ・花粉の時期になると、くしゃみや目のかゆみがひどい。都が基金のことを考えていることを知り、喜んで協力したいと思う。製薬会社や薬局などにも協力を求めるべき。（女性, 30 代, 東久留米市）
- ・青梅に住んでいるので花粉の季節には毎日、玄関やベランダなどは黄緑色にまみれている。過剰なスギは伐採してほしい。ボランティアの募集があれば積極的に参加したい。（女性, 30 代, 青梅市）
- ・早く花粉の出ない木に植え替えてほしい。（男性, 50 代, 中野区）
- ・花粉症対策には原因のスギを減らすのが一番で、環境改善につながる広葉樹の植え替えを積極的に進めてほしい。奥多摩の「緑のダム化」は水源確保にもつながる。（女性, 50 代, 目黒区）
- ・「総合的花粉症対策」は 10 年 20 年を見据えた事業計画が必要。スギの伐採には林業振興という視点が不可欠であり、花粉症対策はその一環と考えるべきである。（男性, 50 代, 足立区）
- ・私はボランティアとして間伐に参加したが、伐った木を山から下に下ろすことができず、放置したままであった。この問題も計画に入れないと解決しない。（男性, 60 歳以上, 大田区）
- ・アレルギー体質の私にとって、スギ花粉症は他人事ではない。伐採されたスギ材を新築やリフォームに利用する際、国や地方から補助金を出し、安価なものにできたらと思う。（女性, 60 歳以上, 世田谷区）

2 花粉症の予防・治療対策に関する意見・要望（8 3 件）

- ・花粉症の専門医の情報提供をしてほしい。（男性, 20 代, 港区）
- ・花粉症はこまめに通院しなければならないので、料金の負担が大きい。もう少し安くできるよう、改善策がほしい。（女性, 20 代, 足立区）
- ・毎年花粉症に悩まされている。今まで以上に花粉症に対する知識を深める場をメディアの場に拡大してほしい。また、気軽に花粉症の相談のできる窓口を増やしてほしい。（男性, 30 代, 目黒区）
- ・スギ花粉症対策の心得を、TV スポット、冊子等わかりやすい方法で広く都民にPRしてほしい。（男性, 40 代, 清瀬市）

- ・多摩地域に住んでいる。周りは花粉症だらけで、公害といってもいいくらいだ。舌下減感作療法を公費で受けられるようにしてほしい。(女性, 40代, 八王子市)
- ・去年は花粉の飛散量が多かったが、軽くて済んだのは毎日、都や環境省の花粉情報を見て外出を控えたことが効果を挙げたと思う。医学研究に多くの予算をかけて一刻も早く治療法を完成させてほしい。(男性, 50代, 足立区)
- ・もっと即効性のある薬を開発してほしい。(男性, 60歳以上, 町田市)

3 大気汚染対策の推進に関する意見・要望(51件)

- ・環境悪化と花粉症の関係が議論されている。公害と花粉症の因果関係の研究も必要である。(男性, 30代, 江東区)
- ・花粉症は車の排気ガスとの相乗効果でひどくなると聞いている。排気ガスは人工のもの、減らそうとすれば減らせるはず。まずはそこからみんなで努力するべき。(女性, 30代, 江戸川区)
- ・スギ花粉症対策は発生源対策だけでなく、大気汚染などの影響も考えられる。都が行っているディーゼル車対策は有意義である。大気汚染防止のため、より一層の施策を進めてほしい。(男性, 40代, 中央区)
- ・他県に移転した友人はスギ林のそばにいるにもかかわらず、東京にいた頃とは違い花粉症の症状が出なくなったという。空気がきれいなら花粉症の症状は軽くなるのではないか。(女性, 40代, 北区)
- ・スギが多い山間部に家族が勤務していたときは花粉症が起こらず、東京に戻ったら発症したのは、花粉だけでなく、他の化学物質と結合して起こる証拠ではないか。空気をきれいにする対策も必要である。(女性, 60歳以上, 中野区)

4 花粉症対策に関するその他の意見・要望(76件)

- ・行政がこのような都民に身近な問題に取り組んでいることに、大いに賛同している。私も花粉症なので、さらなる対策を期待する。(男性, 20代, 中野区)
- ・花粉の飛散の時期以外にスギの伐採ボランティアを募り、スギ花粉についての正しい知識を身につけるような場を設けるなどの活動に行政は取り組んでほしい。(男性, 30代, 墨田区)
- ・スギ花粉症の増加は国の政策の誤りだという意見もある。春先は本当につらい。花粉の飛散が少なくなるような政策を強力に進めてほしい。(男性, 40代, 練馬区)
- ・長年花粉症に悩まされている。今や「国民病」とも言えるほどだ。一刻も早く気持ちの良い春を迎えられるように対策を強化してほしい。(女性, 40代, 大田区)
- ・花粉アレルギーはスギ以外にもある。総合的な花粉症対策を行ってほしい。(男性, 50代, 中野区)
- ・東京都だけで花粉症対策を実施しても、効果は薄い。首都圏全体という大きなレベルで共同で実施することが必要であり、効果的だと思う。(男性, 60歳以上, 町田市)
- ・花粉症が多くなっているのは我々の体質が変わったせいもあり、体質改善のために、生活や食事のあり方や、なぜ、現代社会にこうした問題が出現したのかなど、多角的に検証し情報を提供してほしい。(女性, 60歳以上, 稲城市)

その他(23件)

- ・花粉症の人を見ているとつらそうで、自分なるのではないかと不安。(女性, 20代, 板橋区)
- ・今年もそろそろ花粉の季節になるかと思うと憂鬱になる。(男性, 50代, 小平市)